

2026 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験  
2026 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験  
「総合心理学部」

---

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

| 学科     | 志願者数 | 1次合格者数 | 最終合格者数 |
|--------|------|--------|--------|
| 総合心理学科 | 6    | 5      | 5      |

【スポーツ】

| 学科     | 志願者数 | 1次合格者数 | 最終合格者数 |
|--------|------|--------|--------|
| 総合心理学科 | 5    | 4      | 4      |

2. 試験内容

面接では志望動機や今後の学修計画や学修意欲を問いました。口頭試問ではフェイクニュースに関する調査結果の図を提示し、その意味を読み取る課題を実施しました。図から、フェイクニュースに対する態度の国際比較について正しく読み取ることができるかを問いました。また、総じてインターネット上の情報に対する考察についても説明を求めました。

3. 出題意図

総合心理学部では、言葉を用いて理解し表現すること、思考すること、そして人間の心と行動、現代における問題に関心をもつことを求めています。さらに、客観的データに基づいた論理的思考について、基礎的な力を有していることを求めています。そこで口頭試問では、まず質問1と質問2で、フェイクニュースのような内容の真偽が疑わしい情報を見かけた際の態度調査の結果を提示し、その全体像について読解力を試す問題、そして特定の国の比較から考えられることへの論理力と表現力について確認しました。また質問3では、それらの結果を踏まえて、フェイクニュースのような真偽不明な情報に接した際への対処法について尋ね、自分なりの意見を正しく述べられるか、また回答の展開力や応用力を確認しました。

4. 評価のポイント

前掲の出題意図に基づいて、質問1と質問2では図表を正しく読み取れるかを確認しました。質問3では、自分の見解を論理的に展開できているか、適切な根拠をもとにまた自分の関心や知識に引き付けて論理的に意見を述べているかを確認しました。

5. 解答状況

短い時間内で図の読み取りが必要でしたが、多く受験生は図の意味について正確に読み取ることができ、またそれを論理的に説明することができていました。

## 6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

総合心理学部では、心理学の多様な分野の科目と心理学に隣接する科目からなるカリキュラムを用意しています。受験生の皆さんは、人の心の様々なありようにも、人々をとりまく環境にも興味をもち、問いを立てる姿勢を育んでください。そして、論理的な思考力、また自らの考えをまとめ発信していく表現力も大切です。したがって、国語や英語などの言葉を使う力が求められます。また、データを集め、分析していく力も必要ですので、自然科学の視点を持つことも重要です。人の心に関心をもち、データを集め、論理的な根拠をもとに自分の考えを展開できる、その基礎になる力を鍛えてほしいと思います。

## 7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

総合心理学部では、本学部の人材育成目的と教育目標に共感し、本学部で学ぼうとする強い意志を持った学生を求めています。本学部の授業では、日本語、そして英語でのプレゼンテーションの機会が多く、グループワークの機会も多数あります。そのため、特に、国語と外国語に関する知識、理解力や表現力を有していることは重要です。また、心理学統計法や心理学実験は1回生から始まり、卒業論文でも必須となる科目であることから、理系科目についても基礎的な学力を身に付けておくことが大切です。

高校生が大学入学前に心理学という学問に持っているイメージと、入学後に学ぶ心理学の学問内容が大きく乖離することがあります。大学入学後に希望するものと現実の間のミスマッチが起きないように、大学が主催する高校生向けの講座やオープンキャンパスなどに積極的に参加し、実際の心理学という学問内容に理解を深めることを推奨します。また所属キャンパスと課外活動実施キャンパスが異なる場合には、十分な修学時間が取れない場合がありますので、この点も留意していただくことが望まれます。これらの点を勘案して、心理学という学問に対して、修学意欲の高い受験生の応募を期待しています。

以上